

## 前 号 目 次

収縮, 幻想化, 理想化する自然 ——大正期日本文学における自然意識——	大久保喬樹
解体する風景にひとつの地平が現れる ——安部公房の長編小説とそのフランス語訳 について (下)——	中山眞彦
『行人』論 (下)——物語構造をめぐって——	中村直子
土佐浄瑠璃の脚色法 (21)——「平仮名大全」——	鳥居フミ子
<i>The Sound and the Fury</i> 序章:『マクベス』解体	遠山清子
女子大学生の体力に関する認識レベルと評価について	楠原慶子
『聖書 新共同訳』アラム語部分の翻訳批評 (2)	守屋彰夫
エイズと社会 (1994 年度始業講演——文理学部)	広瀬弘忠
欧文要約	

---

### 定年退職教授紹介

栗原福也教授 / 高田洋一郎教授 / 松川成夫教授 / 山中信夫教授